



実施報告書

2019年1月
寒川町議会

従来の議会報告会とは違う、参加した方たちがもっと気楽に意見やアイデアが言えるもっと自由な「井戸端会議のようなしゃべり場」が出来ないだろうか。そんな思いの中、議員個々が様々なアイデアを出し合い、試行錯誤の末にたどり着いたのがワールド・カフェ方式による意見交換会「寒川町議会オープントークCafé 1号店」です。

開催までに、ワールド・カフェ指導の第一人者である青森中央学院大学・経営法学部の佐藤淳准教授を講師に招き、実践講習を受け、更に議会単独で二回の実践リハーサルを行い、準備万端本番を迎えました。お陰様で多くの方にご参加いただき、自由な雰囲気の中、多くの貴重なアイデアやご意見をいただけたことに大変感謝しております。

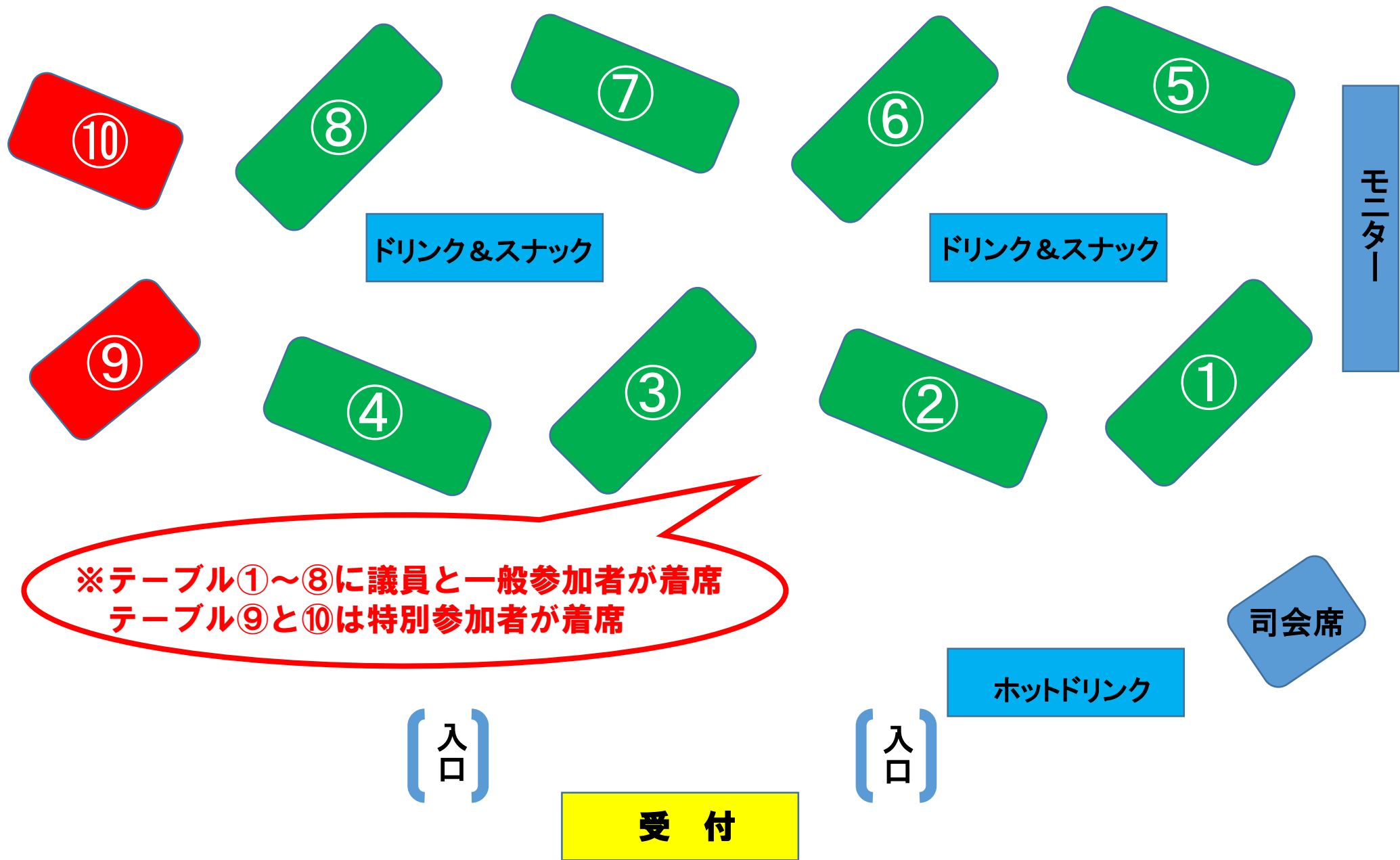
今回の報告書には記載していませんが、参加した皆さんと出し合った意見やアイデアを基に、既に課題抽出を終え、現在その具体的な課題解決策の協議に入っております。寒川町議会としての考えがまとまった時点で、改めて皆様にご報告致しますので、今後の議会活動にご注目いただければ幸いです。



11月24日(土)AM10時～ (開場9:30)

- 【日 時】 2018年11月24日(土) 午前10時～(開場9時30分～)
- 【場 所】 シンコースポーツ寒川アリーナ
1階多目的室
- 【テーマ】 あなたにとって「開かれた議会」とは
- 【方 式】 ワールド・カフェ方式による意見交換
- 【参加者】 寒川町議会議員 17名(内1名は進行)
一般参加者 26名
特別参加者 10名

※特別参加者は、視察目的でご来場された大磯町議会議員及び愛川町議会議員のことで、2つのテーブルに別れて、特殊な形式で参加して頂きました。



第1ラウンド

問い:「寒川町議会の「**誇りに思うこと**」「**残念に思うこと**」は何ですか？

席替え

第2ラウンド

問い:あなたにとって「**開かれた議会**」とは、どんな議会だと思えますか？

席替え・休憩

第3ラウンド

問い:開かれた寒川町議会になる為に、**議会、議員が取り組まなければならないこと**は何ですか？また、**町民が取り組まなければならないこと**は何だと思えますか？

個人での振り返り

全員での振り返り



11月24日(土)AM10時～ (開場9:30)

【問い①】寒川町議会の「誇りに思うこと」「残念に思うこと」は何ですか？

残念に思うこと

- ①信頼がない
- ②顔が見えない(親近感に欠ける)
- ③自浄作用が無い。けじめをつけない
- ④ある議員に対する問責決議や、別の議員による交通事故での議員辞職など、“不祥事”が相次いだ
- ⑤女性議員が少ない
- ⑥「議会だより」があまり読まれていない
- ⑦町民の専門的な知識を活用していない(協働の議会づくり)
- ⑧議会の一般質問がなれ合いである
- ⑨町民の声に耳を傾けているとは言い難い
- ⑩全員協議会等公開でない会議が存在する
- ⑪政務活動費の使徒が不明(詳細な使徒の明示)
- ⑫議事内容、プロセスが明らかにされていない
- ⑬条例の議員提案が殆どない
- ⑭議会の仕組みがわかりづらい
- ⑮議員定数が適正とは思えない(もっと少なくても良い)
- ⑯町へ直接提案をしても、常に「財政が厳しい」で却下されてばかり。議員の努力不足では
- ⑰議場での議会傍聴がづらい
- ⑱昼間働いているため、傍聴もネット中継視聴もままならない
- ⑲議員は、選挙の時だけ出てきて当選したら何もしていない
- ⑳ボランティア活動などへの議員の参加が少ない
- ㉑給食センター化を可決してしまった
- ㉒自治基本条例が浸透していない

誇りに思うこと

- ①お金にきれい
- ②議会だよりがしっかりしている
- ③いち早くタブレットを導入し、ペーパーレス化に努めるなど、議会改革に熱心である。
- ④行政(執行部)との間で中身の濃いやりとり(質問・質疑)が行われている
- ⑤年代構成に偏りがなく、近年、若手の議員も増えてきている
- ⑥議会改革推進に対する意識が高い
- ⑦フランクな議員が多く町民との距離が近い(偉そうにしている議員がいない)

【問い②】あなたにとって「開かれた議会」とは、どんな議会だと思いますか？ 具体的にお話し下さい。

- ①議員と町民との距離が近く、対等な立場で常にいる
- ②町民の意見を吸い上げる仕組みを構築している
- ③②と併せて、議論の途中なりで、町民の意見を聞く場を持っている
- ④傍聴しやすい議会(曜日的・時間帯的に)
- ⑤議会棟自体にオープンな雰囲気がある
- ⑥原則としてすべての会議が公開されている議会
- ⑦議員が行う視察(委員会視察、会派視察など)について、その内容が住民に説明される機会がある議会
- ⑧政務活動費の使い道がネットで公開されている議会
- ⑨オープンカフェなど、このような機会において議員と直接会える議会
- ⑩他の自治体や議会の事例(先進的な取り組み)をよく勉強して、町政に反映させようと努める議会
- ⑪傍聴者の立場にたった議会運営(休憩を短く・バリアフリー等)
- ⑫議会が町民の潜在的な力を活用したもの(議会と町民しとの間で協同が行われている)
- ⑬女性議員の人数構成のバランスがよく、女性の意見を汲み取ってくれる
- ⑭自浄作用がある議会
- ⑮住民に対して説明責任を果たしている議員が集まっている
- ⑯議員間での自由討論が活発に行われている
- ⑰情報を積極的かつわかりやすく公開・発信し、課題・問題の共有が町民となされている
- ⑱存在感がある
- ⑲夜間、土日の開催など、町民が傍聴しやすい会議を行っている
- ⑳議会だよりをはじめとする広報手段に工夫がなされている
- ㉑議会だよりや議員個人の議会報告の充実
- ㉒議員、役人、関係者、一般町民との間に「壁」が存在しない

【問い③】開かれた寒川町議会になる為に、議会、議員が取り組まなければならないことは何ですか？また、町民が取り組まなければならないことは何だと思いませんか？

議

会

- ①興味をもたせる仕掛け(広報関連全般)
- ②読みたくなる「議会だより」への改革
- ③議会だよりをはじめとする広報の工夫。話題性を呼ぶこと(クーポン券を付ける等)
- ④町民が参加出来る、していると感じられる仕組みを作る
- ⑤町民との「双方向性」の強化
- ⑥オープントークカフェような取り組みを継続的に行い、更に町民との意見交換の場を増やす
- ⑦議会報告をきちんと行う
- ⑧傍聴しやすいように土日や夜間に議会を開く(職員の負担の面から慎重意見も有)
- ⑨議場へ来場しやすい、したくなる環境づくり
 - ・障害者への対応(バリアフリー)
 - ・傍聴ツアー・議場コンサート
 - ・仕組みがわかる親子見学会
 - ・傍聴者の視点での休憩時間の改善
- ⑩政務活動費の用途について、ネット公開を進める
- ⑪議員はもっと地域に足を運んで、町民の声に耳を傾ける
- ⑫議会として、積極的にボランティアなどに参加する
- ⑬議会オンブズマン制度を導入
- ⑭議員活動の見える化(議員個人の広報の積極化)
- ⑮情報提供方法の改善(特にタイミング)
- ⑯女性議員と併せて次世代の議員の人材発掘
- ⑰今後、議会として取り組むべき政策の優先順位を明確にする
- ⑱議会イコール権威という古びた主義をやめるべき
- ⑲議会は町民にとって特別な場では無い事を示していくべき
- ⑳義務教育段階における「地方議会の重要性」を認知させる議会独自の教育システムの導入

町

民

- ①議会に足を運ぶ(傍聴の機会を増やす)
- ②町民が町及び議会に提案する仕組みを作る(子供議会・主婦議会・親父議会等)
- ③このようなオープントークカフェなどの機会をとらえて、町民の町政への意識を高めていく
- ④議会に対して興味を持つ
- ⑤町民と議員のネットワーク作りの意見・アイデアを積極的に採用する政策立案・実行のプロセスのための仕組みづくり
- ⑥注文するだけではなく、自ら動く町民になる
- ⑦議会の監視役として、しっかりと議会に目を向ける
- ⑧とにかく、議会だよりを読む
- ⑧義務教育段階における地方議会の重要性を認知させる家庭教育の推進



11月24日(土)AM10時～ (開場9:30)

寒川町議会、初の試み。自由な「しゃべり場」はじめます



寒川町議会
オープントーク
Café
【1号店】

日時 11月24日(土)AM10時～(開場9:30)
場所 シンコースポーツ寒川アリーナ
(寒川総合体育館) 1階 多目的室
テーマ 【あなたにとって「開かれた議会」とは】
ワールドカフェ形式による意見交換会／入場無料／参加自由


問い合わせ
74-1111(内線342) **寒川町議会** **検索**

【議会だより11月発行号】
裏表紙全面広告(A4サイズ)

CloseUP! さむかわ

生活習慣病予防 健康メモ②

第2回のテーマは「11月14日は世界糖尿病デー」です。



世界糖尿病デーは世界保健機構(WHO)が1991年に定めた国際デーです。当日は世界各地で糖尿病抑制に向けたキャンペーンとして、ブルーライトを灯す行事が行われます。

さて、現在茅ヶ崎・寒川地域では、糖尿病の人に「糖尿病連携手帳」の活用を勧めています。糖尿病治療は合併症予防のため、眼科や歯科など内科以外の診療も大切です。そこで役立つのがこの手帳です。

糖尿病患者さん本人と医療機関や医療関係者をつなぐ、血糖コントロールの状態や治療の進み具合など医療情報の連絡帳ですので、お薬手帳と併せてお持ちください。糖尿病連携手帳を持っていない人は、医療機関や薬局にご相談ください。

今回の格闘 「糖尿病、予防と治療に連携手帳」

■お問い合わせ先
議会事務局 ☎内線342
FAX 74-1115



寒川町議会
オープントーク
Café
【1号店】

町議会初の試み
オープントークカフェ開催

【広報さむかわ11月発行号】
中面情報ページ Close UP! さむかわ

自由な「しゃべり場」はじめます



寒川町議会
オープントーク
Café
【1号店】

日時 11月24日(土)AM10時～ (開場9:30)

場所 シンコースポーツ寒川アリーナ
(寒川総合体育館) 1階 多目的室

テーマ あなたにとって「開かれた議会」とは
ワールドカフェ形式による意見交換会 / 入場無料 / 参加自由

問い合わせ
74-1111(内線342)

寒川町議会

【告知ポスター】

サイズ：A3たて

掲示場所：①寒川町広報掲示板
町内53箇所

②コンビニエンスストア店頭

③総合体育館他公共施設

※当該ビジュアルをモチーフに、
寒川町議会HP上でも告知を実施





オープントーク
Cafeは今後も
継続して欲しい

広報力強化のために
タイムリーな情報発信の
仕組みづくりを

議会・議員の資質
向上を目的とした
教育プログラムの
実施を

町民は議会の
監視役。もっと
議会に関心を

議員は日頃から地域
活動へもっと深く関
わっていくべき

議会と町民が課題・問題
を共有し、共に解決して
いく仕組みが必要では

土日や祝日、夕方
以降に会議を実施
する等、傍聴しやす
くしては

「議会が偉い」「有権
者が偉い」ではなく、
対等な立場でまちづ
くりをしていくべき